



学校だより

今年は、13年ぶりに梅雨時期に台風が3つも発生し、先週末からは真夏日が続くという異常気象です。体調が追いつかない日々が続いていますが、夏休みまで今週を残すのみとなりました。子どもたちは、1学期のまとめの活動にがんばって取り組んでいます。

4月に新学期を迎えてから、様々な行事や出来事がありました。この中で、自分ががんばったこと、友達と一緒に取り組んだことなどをしっかりと振り返って、自分自身の成長や集団としての高まりを自覚してほしいと思います。

今週末からいよいよ夏休み。学校では、夏休みに入る前に、夏休みのめあてについて子どもたちと話し合っています。学習や運動、手伝いなど、約40日の長い休みの間に、継続してがんばるという経験をしてほしいと思っています。

長い期間、めあてに向かって、継続してがんばるといことは、簡単なことではありません。途中でしんどくなってしまうこともあると思います。そんな時、お家の人からの励ましや称揚の言葉があると、やる気がわいてきます。ぜひ、声かけをお願いします。



あいさつの輪を広げよう！！

昨年度の教育アンケートで、子どもたちからも保護者の方からも評価の低かった”あいさつ”！！。点数では、児童の評価でワースト1位（79.5点）保護者の方からの評価でもワースト2位（83.3点）でした。

あいさつはコミュニケーションの基本です。あいさつがしっかりできていない人というのは、それだけで大きなチャンスを逃していることになるとも言われるくらいです。

この点を改善しようと、今年度は”あいさつがしっかりできる子ども”を重点項目の一つとして取り組んでいます。



中学校でも同様に”あいさつ運動”に取り組んでいます。中学校の”あいさつ運動”の合言葉『さあ！おとな！』＝『**さ**きに **あ**かるく **お**おきな声で **と**おくからでも **な**んどでも』をいただいて、「学校から白石島にあいさつの輪を広げよう」と児童朝会で話をしました。

これを受けて、全校児童の話し合いの場の児童会で「あいさつ運動」についての話し合いが行われました。この中で、子どもたちは「あいさつの歌」を作りました。「おもちゃのチャチャチャ」の替え歌です。子どもたちの考えた歌詞を載せていますので、ご家庭でお子様と一緒に歌ってみてください。

また、今年度から行っている「全校での朝の会」で、『本日のあいさつMVP』の発表をすることも話し合って決めました。

自分たちで話し合って決めたこともあり、校内では”あいさつ運動”がとても盛り上がり、毎朝、校内は元気のよいあいさつでいっぱいです。

この盛り上がりを持続し、家庭や地域へと広げていきたいと思っています。

親子の会話を

昨年度の教育アンケートで、あいさつと同様に評価が低かったのが、「学校であったことなど、家の人とよく話をする。」児童（82.1点）保護者（76.7点）でした。

学校での学習や生活の場面を見ていて、自分の思いや考えを自分の言葉で表現することが苦手だと感じるのがよくあります。少ない人数で密接なつながりがあるため、全部を言葉で表現しなくても十分に伝わる環境の中で育てていることも影響しているのではないかと思います。

先日のいきいき交流スクールで4島の小学生が集まったときに、高学年のクラスで討論会を行いました。2つのグループに分かれて、1つの課題に対して賛成と反対の立場から意見を戦わせました。ここでも、自分の思いや考えを自分の言葉で表現する経験が、日々の生活の中で少ないことを感じさせられました。交流スクールで4島の友達が集まって学習する機会に、このような経験をしっかりとさせたいと思いました。

「学校であったことなど、家の人とよく話をする。」ことは、二つ大きな意義があると思います。一つは上記のような言葉での表現力を身に付けることです。毎日会話をすることで、表現力を高めることができます。もう一つは、お互いの理解を深めることです。会話の中で子どもが何を考えているかを知ることができ、親の気持ちを伝えることも自然とできます。

子どもたちが家庭で過ごす時間が多い夏休みです。時あるごとに親子での会話をさせていただきますようお願いいたします。

あいさつの歌

あかるく おはよう
あかるく おはよう
みんなで あかるく おはよう

いつも あいさつ してるかな
さきに あいさつ してるかな
つづけて あいさつ してるかな
みんなで あかるく おはよう

あかるく おはよう
あかるく おはよう
みんなで あかるく おはよう

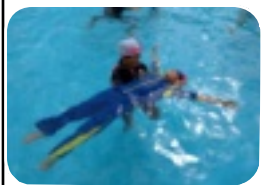
さきに あいさつ きもちいい
あかるく あいさつ きもちいい
おおきなこえで おはよう
とおくからでも おはよう

あかるく おはよう
あかるく おはよう
なんとでも おはよう
なんとでも お・は・よう
やー！

この歌は、児童朝会で話し合いました。ぜひ、ご家庭でも歌ってください。

着衣泳

水辺で遊ぶ機会の増えるこの季節に合わせて、着衣泳についてB&G海洋センターの指導員の方に指導していただきました。最初は、



上下の服を着たまま泳ぎました。「重い重い」の声が上がりました。なかなか泳げないことを実感しました。

次に、助けが来るまで体力を使わずに浮かんでいる『背浮き』を教わりました。二人組で互いに補助をしながらぶかぶかと浮かぶ練習をしました。



おぼれている人を見つけた時、ペットボトルに少しだけ水を入れてから投げて浮きする方法、ペットボトルを抱えて浮く方法を教わり、救命胴衣をつけて浮く体験をしました。最後に、水の中で服を脱ぐことがどんなに難しいかも体験しました。

今日教えていただいたことが役立つ機会がないことが何よりですが、もしもの時は、ぜひ冷静に思い出してくれることを願っています。

